

学校評価の公表について (手段・時期・内容等)	・3月中にホームページにアップして、学校評価を公表する。
----------------------------	------------------------------

領域	学校関係者評価の結果	学校評価のまとめ (課題と次年度に向けた改善方策)
学 校 経 営	1 教育活動のさらなる充実による「信頼される学校づくり」について ①「 学校ホームページ 」は見やすく、TOPICSは 頻繁に更新されているのがよい 。ホームページの情報と、その整理の仕方にはたいへん感心している。 ② 魅力ある職場づくりを20～30代の若手中心の委員会を進めている法人もある。しかし、若手職員の話し合いは個人的感想にとどまり組織全体での考えや行動につなげることが難しいようだ。 ③ 先生方がもっと積極的に中学校に赴いて説明をした方がよい。私立のように効果ある宣伝をしていけたらよい。 ④「きめ細か(な指導)」というのがキーワードだと思う。一人一人の生徒とコミュニケーションを交わし、生徒の話をよく聞いて、アドバイスをしてあげてほしい。	① よい学校である(になった)ことを、さらに力を入れて広報するには、どこにどのように広報していくのが課題である ② 本年度は五年経験教員を中心にした研修の一環で、授業研究や意見交換などを実施した。今後も、若手職員に当事者意識を植え付けた上で、職場全体の士気の向上を指導していきたい。 ③ 中学校訪問の対象地域を拡大したことで、今まで志願者がなかった中学校からも志願があった。効果的な対象地域や対象校の拡大を継続したい。 ④「一人一人を大切に、きめ細かな指導」を本校の特色として、今後とも継続していきたい。
	2 共通理解と情報の共有化に基づく校務遂行体制の確立について ○ 職員アンケートで、「学校の実態に合った職員研修が行われている」の項目の評価が極端に低い。研修の機会を望む職員のニーズがあると読み取れる。不祥事防止だけでなく、時代に合った教育方法など、研究的な内容の研修が重要。	○ 職員が希望する研修内容をリサーチし、「生徒指導の共通理解」「生徒の個別の教育的ニーズに応じた特別支援」等に加え、次年度は「基礎学力の定着に向けた学習改善」についても職員研修の機会を整備したい。 ○ 既に定例化している学年会議の他、分掌会議や教科会議、さらに学年主任連絡会議なども必要に応じて定期的実施し、学校課題を明確化し解決方策について共通理解を図ることとする。
	3 不祥事を起こさない職場づくりについて ○ 安心安全な学校づくりに向けて努力していると思う。夜通し敷地内に入出りできる学校もある中で、本校は日中にも校門を閉めてあるのは、安全管理の面でも良いことである。 ○ 校内が整然としていて、校舎周りも塵一つ落ちていないのはすばらしい。	①②④ 次年度も引き続き、各種面談、授業参観、校内巡視等を通じた、管理職と教職員及び教職員同士のコミュニケーションの活発化、具体的事例に基づいた法令遵守意識の涵養、教職員の心身の健康管理状況の把握、等の取り組みを継続して、不祥事を起こさない職場風土を醸成していく。 ③「開かれた学校づくり委員会」や地域自治会、青問協等との連携を引き続き強化し、地域に開かれた学校を目指す。
	4 今後の計画の策定と段階的实施について ○ 学校の主体である生徒と保護者のニーズが変わってきている。今後の入学希望者は、評判やイメージに影響されるので、中長期的に見てここで何か考えて対策を講じなければならない。	○ 将来計画検討委員会を中心に、地域からの要望も踏まえて、より具体的な将来計画を策定し、実施する。

領域	学校関係者評価の結果	学校評価のまとめ (課題と次年度に向けた改善方策)
学習指導	<p>①③ 朝自習での自学自習の態度の育成や、少人数展開での「学びなおし」などにより、基礎学力を向上させようという取り組みはたいへん良い。</p> <p>②④ 保護者アンケートで、「教員のわかりやすい授業の工夫」の項目で評価が下がっているようだが、学校が努力していることは、その良さや効果について、保護者に対してもっと十分に説明し、理解してもらう機会を増やす必要がある。</p> <p>○ ブラックバイトから身を守るための労働法の知識等も身につけさせる必要がある。</p>	<p>① 次年度は「学力の向上」を課題とする。引き続き、少人数展開を活かしたきめ細かな指導によって「学びなおしができる授業」「わかる授業」を実践し、“学ぶことの楽しさ”に気付かせる。</p> <p>② 次年度は、「基礎学力の定着に向けた学習改善」を学校としての共通の研究課題として取り組む。その中で、授業公開、研究授業等を位置づける。</p> <p>③ これまで実践してきた「朝自習」の充実を、次年度に取り組む「基礎学力定着に向けた学習改善」の研究の中で、中心的実践として位置づけ、授業との効果的な補完を図る。</p> <p>④ 上記研究課題の取り組みの一環として、授業についての管理職の指導助言を行う。</p>
生徒指導	<p>○ ここ数年で、生徒の態度は驚くほど良くなった。現場で働く先生の一所懸命な努力によって生徒の質も変わって、とても良い学校になった。</p> <p>○ 校内の清掃が行き届いており、生徒の基本的な生活態度の良さに感心した。</p> <p>○ 学年自己評価で「学年行事を通じて人間関係を広めることができた」というのは、本校の情操教育のすばらしいところである。</p> <p>○ 職員アンケートで「いじめを許さない学校づくり」のポイントが下がっているのは、力を入れてないのではなく、あえて最重視しなくてもよい学校になってきたことの表れではないか。</p>	<p>○ 地域からの好評に気を緩めることなく、生徒指導に重点を置くことを本校の第一の特色として、「全職員の共通理解のもとでの生徒一人ひとりを大切にするきめ細かな生活指導」「家庭との緊密な連携と、教育相談機能を活かした生徒理解」「特別支援の観点を踏まえた、生徒個々の実態に合った適切な指導」「学年室体制の充実」「一斉指導や各種カード指導」「登校観察」「遅刻・欠席・早退の実態把握と家庭連絡等管理の徹底」等の取り組みを継続する。</p>
キャリア教育	<p>① 本校の進路指導はとても良い。また、進学や就職の実績や卒業生のメッセージなど、進路に関する掲示物が大変充実していて役に立つ。特に、活躍している卒業生のメッセージはどんな本よりも心強いと思う。</p> <p>② 外部講師による進路ガイダンスに、地域の人的資源を活用したゲストティーチャーを導入してはどうか。</p> <p>④ 進学や就職に一度失敗した生徒にも、あきらめず粘り強く指導してほしい。また、面接指導には、保護者の協力も必要ではないか。</p>	<p>① 引き続き、学年と進路指導部が協働し、生徒一人ひとりの能力・適性、興味関心や進路希望に応じたきめ細かな進路指導とキャリア教育を、3年間を見通し計画的・継続的に実践する。</p> <p>② 質、量ともに進路ガイダンスをより充実させ、引き続き、外部講師によるガイダンス等の効果的な方策を工夫、検討し、生徒の健全な職業観・勤労観を育成することとする。</p> <p>③ 情報収集や進路先確保のための企業訪問を継続する。</p> <p>④ 「一人一人を大切にした、きめ細かな指導」を具現化するものとして、進路個別相談の充実を位置づける。</p>
特別活動	<p>① 部活動の対外的活動や公開行事などをよりオープンに積極的に広報してはどうか。吹奏楽部の老人ホーム慰問や校内音楽会などは大変良い取り組みであった。</p> <p>② 文化系部活の活動についても、もっとアピールしてもよいのではないか。</p> <p>③ 年に何度かの公道での清掃活動はたいへん感心している。地域のボランティア活動を広げられるような高校になればよいと思う。</p>	<p>① 引き続き、生徒が自ら積極的に学校行事に関わろうとする態度を育成し、生徒主体の学校行事をより活性化させる。</p> <p>② 運動部だけでなく、文化部も含めて、活動内容や成果を積極的に広報して、部活動の活性化を支援する。</p> <p>③ 生徒の努力の成果を認め、達成感を与え、自信を持たせる支援と指導を行うことを通じて、ボランティア活動の定着化も図る。</p>